

令和 6 年度 特別の教育課程の実施状況及び評価等について

守谷市立守谷小学校

1 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程を編成・実施する学校

守谷市立守谷小学校

(2) 特別の教育課程の概要

守谷市保幼小中高一貫教育のスローガン「世界に輝く人づくり」を目指し、急速に進展するグローバル化に対応することができる人材を育成するため、小学校 1 年生～2 年生において、生活科の 35 時間分（1 年生は 34 時間分）を設定する。「英語活動」においては、守谷市独自に配置している外国語指導助手（ALT）との交流の機会を多く設け、体験的な活動をとおして外国語や異文化を理解し、自他の文化や価値を尊重することができるグローバルな視野や態度の素地を育む学習を行う。

(3) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する 必要性

守谷市では、保幼小中高一貫教育「きらめきプロジェクト」を推進し、就学前の保育所等でも、英語を用いた遊びなどを積極的に取り入れたり、外国人講師との英語での交流機会を設けたりしている。この保幼小中高一貫教育としての継続性から、就学前の学びを小学校入学後においても継続する必要性がある。

また、外国語教育に関する意識調査からも、外国語に係る学習への興味・関心が高い児童の割合が高く（83%）、将来は国際社会で活躍することを希望する児童生徒も多い。保護者からも本市の外国語教育に係る取組に対して高い支持を得ており、特別の教育課程を編成する必要がある。

(4) 特例の適用開始日

平成 23 年 4 月

平成 30 年 4 月 変更

平成 31 年 4 月 変更

令和 2 年 4 月 変更

令和 6 年 4 月 継続

(5) 取組の期間

令和 8 年 3 月 31 日まで

2 特別の教育課程の編成・実施計画に基づく実施状況

- ☒ 計画通り実施できている
 - ・一部、計画通り実施できていない
 - ・ほとんど計画通り実施できていない

3 特別の教育課程に基づく教育の実施状況に関する自己評価結果

(1) 第1学年児童による評価

① 英語活動の時間は、楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	58.5%
楽しい	33.3%
あまり楽しくない	2.8%
楽しくない	5.7%

② ALTの先生といっしょの活動は楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	65.1%
楽しい	31.1%
あまり楽しくない	1.9%
楽しくない	1.9%

③ 英語をもっと話せるようになりたいですか。

	割合(%)
とても話せるようになりたい	67%
話せるようになりたい	29.2%
あまり話せるようになりたくない	1.9%
話せるようになりたくない	1.9%

④ 外国のことをもっと知りたいと思いますか。

	割合(%)
とても知りたい	65.1%
知りたい	26.4%
あまり知りたくない	5.7%
知りたくない	2.8%

(2) 第2学年児童による評価

① 英語活動の時間は、楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	57.3%
楽しい	29%
あまり楽しくない	8.1%
楽しくない	5.6%

② ALT の先生といっしょの活動は楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	56.5%
楽しい	32.3%
あまり楽しくない	7.3%
楽しくない	4%

③ 英語をもっと話せるようになりたいですか。

	割合(%)
とても話せるようになりたい	67.7%
話せるようになりたい	21.8%
あまり話せるようになりたくない	5.6%
話せるようになりたくない	4.8%

④ 外国のことをもっと知りたいと思いますか。

	割合(%)
とても知りたい	55.6%
知りたい	29.8%
あまり知りたくない	8.9%
知りたくない	5.6%

(3) 保護者による評価

① 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることについて、どのようにお考えですか。

	割合(%)
とてもよい	85%
よい	15%
あまりよくない	0%
よくない	0%

② お子様は、外国語教育の時間を楽しみにしていますか。

	割合(%)
とても楽しみにしている	28%
楽しみにしている	54%
あまり楽しみにしていない	17%
楽しみにしていない	1%

③ 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることで、お子様が英語を繰り返し学ぶ機会が増えていると思いますか。

	割合(%)
とても増えていると思う	17%
増えていると思う	65%
あまり増えていると思わない	17%
思わない	1%

④ 小学校1年生から外国語教育に取り組むことで、お子様に力が身に付いているとお感じになることはどんなことですか。(複数回答可)

	割合(%)
積極的に楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度	39%
(英語を) 聞く力	52%
(英語を) 話す力	27%
(英語を) 読む力	9%
(英語を) 書く力	8%
分からない	21%

⑤ 今後の小学校の外国語教育について、どのようなことを希望しますか。ご意見等があれば、お聞かせください。

- ・「様々な国の英語」に触れることで、同じ英語でもニュアンスの違いに気づくことができると思います。海外経験の多い専科の先生から文化の違いを学ぶことができているのは良いと思います。
- ・興味のある話題を、友だちやオンラインで海外の方と話すことで、英語に興味をもてればそれでいいと思います。
- ・外国語を学べる機会や、外国の方と交流できる場も増やしていただきたいと思います。
- ・英検の学習も授業で合わせてやってほしい。

(4) 学校関係者（教職員）による評価

- ① 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることについて、どのようにお考えですか。

	割合(%)
とてもよい	57%
よい	43%
あまりよくない	0%
よくない	0%

- ② 児童は、外国語教育の時間を楽しみにしていますか。

	割合(%)
とても楽しみにしている	71%
楽しみにしている	29%
あまり楽しみにしていない	0%
楽しみにしていない	0%

- ③ 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることで、児童が英語を繰り返し学ぶ機会が増えていると思いますか。

	割合(%)
とても増えていると思う	57%
増えていると思う	43%
あまり増えていると思わない	0%
思わない	0%

- ④ 小学校1年生から外国語教育に取り組むことで、児童が身に付いているとお感じになることはどんなことですか。（複数回答可）

	割合(%)
積極的に楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度	43%
（英語を）聞く力	86%
（英語を）話す力	57%
（英語を）読む力	0%
（英語を）書く力	0%
分からない	0%

- ⑤ 今後の小学校の外国語教育について、どのようなことを希望しますか。

国際的な場で活躍できる人を育成する上で、とても大切であると思う。英語専科に、毎週でなくてもよいので、隔週または月1回程度、小学校1年生からでもALTと一緒に授業に入ってほしい。

4 実施の成果と今後の課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により目指す学校の教育目標達成の成果

小学1・2年生から英語活動を導入することで、児童が英語に自然と親しむ機会が増え、発音やリズムに慣れる素地が形成されている。ALTとの触れ合いを通じて、異文化に対する興味や積極的に英語を使おうとする意識も育まれている。1年生から6年生までの一貫したカリキュラムにより、基礎的な表現を身につけ、英語を用いた簡単な会話が可能になりつつある。今後は、低学年で培った素地を、中学年、及び高学年につなげていくことが必要である。

(2) 教育課程全体としてバランスのとれた教育活動が実施され、学校教育法に示す学校教育の目標達成の成果

英語活動を低学年から導入することで、外国語に対する興味が高まり、音や表現に抵抗なく取り組めるようになった。さらに、学年ごとに系統的な指導を行うことで、外国語の基礎的な力を養うだけでなく、異文化理解の視点も広がっている。ALTとの関わりを通じて、コミュニケーションの楽しさを実感し、積極的に意思を伝えようとする姿勢が見られるようになった。今後は、英語学習が他教科の関連をより一層図る指導の工夫が求められる。

(3) 今後の課題

低学年から英語に触れることで、児童は英語に対する抵抗感が少なくなり、自信をもって発話できるようになっている。しかし、学年が上がるにつれ、表現の幅を広げることや、聞く・話す力を伸ばすことが課題となる。また、外国語活動を通じて養った積極的な姿勢を、中学校以降の学習につなげるための支援も必要である。さらに、英語を学ぶ楽しさを継続させ、実際のコミュニケーション場面で活用できる力を育むことが求められる。

5 授業の様子



2年生の発表の様子



4年生の言語活動の様子